

平成27年度 全国学力・学習状況調査の結果概要

～10分類中6分類で全国平均を上回る～
 小学校は回復傾向，算数Bに課題 中学校は昨年度の好結果を維持

1 調査実施校数及び児童生徒数

■ 悉皆調査

○ 福岡市全体

- ・ 小学校第6学年，特別支援学校小学部第6学年 142校 約12,370人
- ・ 中学校第3学年，特別支援学校中学部第3学年 72校 約11,430人
- 合計 約23,800人
- ・ 特別支援学校で通常カリキュラムを履修している児童生徒については，状況に応じて個別に実施

2 教科に関する調査の結果

- 小学校の国語A，及び理科の2分類で全国平均を上回る。小学校の国語B，算数Aは昨年度より全国平均との差が縮まっている。算数Bは，全国平均より下回っている。
- 中学校は，国語Aと国語B，数学B，理科の4分類で，全国平均を上回る。

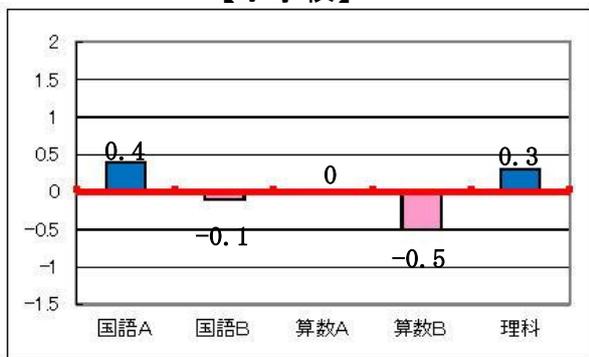
(1) 調査結果の概況 ※平均正答率…平均正答数を百分率で表示したもの

小学校調査		国語A	国語B	算数A	算数B	理科
福岡市(市立)	平均正答率	70.4	65.3	75.2	44.5	61.1
福岡県(公立)	平均正答率	69.8	65.1	74.7	44.2	59.5
全国(公立)	平均正答率	70.0	65.4	75.2	45.0	60.8
福岡県との比較		+0.6	+0.2	+0.5	+0.3	+0.6
全国との比較		+0.4	-0.1	0	-0.5	+0.3

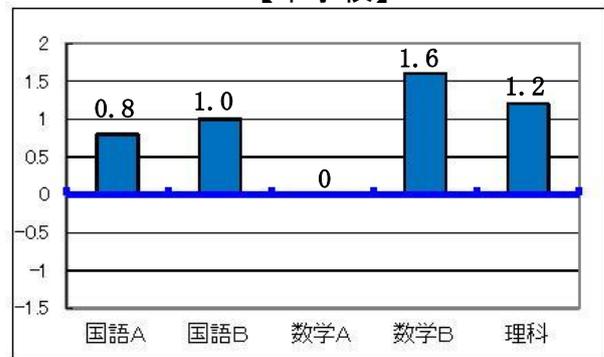
中学校調査		国語A	国語B	数学A	数学B	理科
福岡市(市立)	平均正答率	76.6	66.8	64.4	43.2	54.2
福岡県(公立)	平均正答率	74.6	64.5	62.2	39.8	51.3
全国(公立)	平均正答率	75.8	65.8	64.4	41.6	53.0
福岡県との比較		+2.0	+2.3	+2.2	+3.4	+2.9
全国との比較		+0.8	+1.0	0	+1.6	+1.2

(2) 全国と福岡市の平均正答率の比較

【小学校】

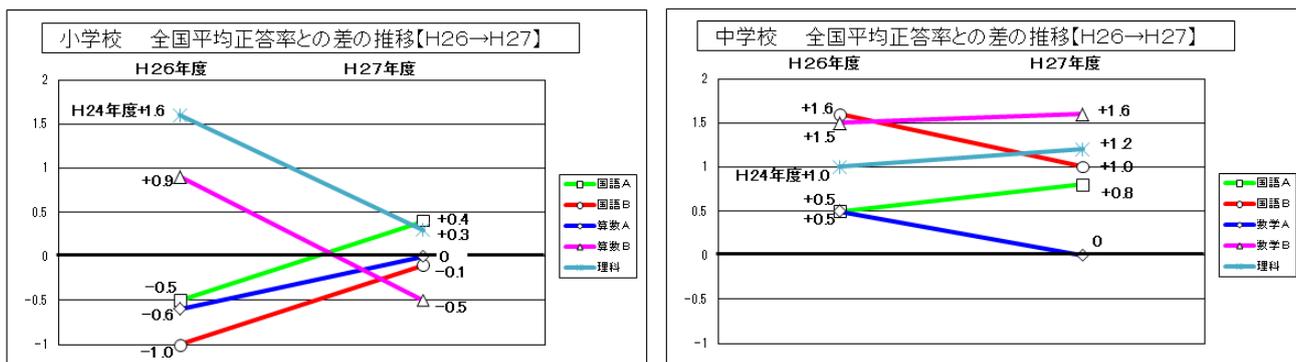


【中学校】



※全国の前年正答率を0として福岡市の前年正答率と比較

(3) 各分類毎の全国平均正答率との差の推移



※理科は毎年実施していないので、平成24年度と平成27年度との比較である。

- 小学校では、平成26年度と平成27年度の全国平均との差の推移では、国語A（知識）と国語B（活用）が前年度比0.9ポイント、算数A（知識）が前年度比0.6ポイント上がっている。逆に、算数B（活用）は、前年度比1.4ポイント下がっている。理科は、全国平均を上回っているものの、平成24年度に比べ、1.3ポイント下がっている。
- 中学校では、平成26年度と平成27年度の全国平均との差の推移では、国語A（知識）が0.3ポイント、数学B（活用）が0.1ポイント上がっている。理科も、平成24年度に比べ、0.2ポイント上がっている。国語B（活用）と数学A（知識）は、全国平均を上回っているものの、国語B（活用）が0.6ポイント、数学A（知識）が0.5ポイント下がっている。

(4) 各教科・分類の状況（本年度の正答率に見られる顕著な状況）

校種	教科区分	正答率が高い問題	正答率	正答率が低い問題	正答率
小学校	国語A	漢字を読む（信念）	97.7	引用している言葉を書き抜く	16.5
		漢字を読む（招く）	97.5	文の中における主語を捉える	49.7
	国語B	中心となる語や文を捉える	87.1	内容を整理して記事を書く	34.4
		文章の要旨をまとめて書く	79.0	文と図を関連付けて考えを書く	40.9
	算数A	28 + 72の計算	98.2	円の性質	52.5
数量関係について式と図を関連付ける		86.4	分度器を使った角度の読み取り	56.8	
算数B	平行四辺形の性質	95.6	面積の分割についての説明	12.4	
	単位量の大きさをを用いた計算	66.8	割合の基準量を求める	15.2	
理科	水蒸気についての理解	83.5	グラフをもとにした考察の説明	29.7	
	地面の様子と気温の変化の関係	83.5	顕微鏡の適切な操作方法	32.9	
中学校	国語A	漢字を読む（載る）	98.0	「青き」の品詞として適切なものを選択	35.0
		漢字を選択する（気象）	97.5	語句選択「たなびく雲」	46.3
	国語B	「おなきなさるな」の翻訳の効果選択	89.5	資料をもとに自分の考えを書く	23.7
		フリップ作成のポイント選択	88.8	構成や根拠を踏まえ、自分の考えを書く	32.3
	数学A	12 : 9と等しい比の選択	93.6	証明の必要性和意味（対頂角）	21.4
5x - xの計算		85.0	数量関係を文字式に表す	23.5	
数学B	考察の対象を明確に捉える	80.7	映像の明るさを2倍にする理由を説明すること	11.7	
	事象を数学的に表現し、意味を解釈する	70.4	ポップアップカード作成の説明	22.7	
理科	天気図から風力を読み取る	82.7	雲の成因を正しく説明できる	13.1	
	塩化ナトリウムの化学式を選ぶ	80.7	音の高さの実験を計画できる	31.0	

※ 上記の問題については、正答率上位、下位それぞれ2つである。

問い合わせ先
 教育委員会指導部
 学校指導課長 吉田正樹
 TEL 092-711-4638
 FAX 092-733-5780